



2025年度に向けて

あなたの不安と一緒に



まちネット寄居総会は2月に開催され、無事すべての議案は承認、新しい年度へと進んでいます。

参加者は少人数ながら、初めて参加の方もおられ、それぞれの思いを語り合うことができました。

今年も私たちでできる地域の福祉を一步前進させていきます。

昨年の調査から様々な状況が見えています。年代を問わず独居の方、高齢者の二世帯は年々増加しています。そんな中で、地域でつながっている人たちがたくさんいることは安心でもあります。それも元気に自分で移動できることが基本です。運転免許の返納後の暮らしが不安という声が最も大きなことでした。町では、買い物難民対策として、商店が遠い地区にウェルシアの移動販売を週1回取り組んでいます。そのため、継続できるようにと皆で買い支えるなどの努力もしているようです。



寄居町でも最近では隣近所のお付き合いが希薄になっているため、人と会話することも相当減少しています。また、孤食も多くなっています。慣れてしまえば気楽という感覚もあるかもしれませんが、災害時の避難や、認知症予備軍などの深刻な不安も出てきます。そんな予知できる不安に何かできるのでは、と皆が感じています。この先、小さな範囲での居場所作り、地域食堂などの取り組みが急務となってきそうです。元気なうちは住み慣れた地域で一人でも自立して暮らして生きたい。そんな皆の願いの一つ一つに寄り添っていきたいと思います。今年も私たちでできる地域の福祉を一步前進させていきましょう。

ウグイス



寄居町で30年以上前からグループホームを立ち上げて、空き家対策の一環として互助ハウスや使用した紙おむつを3分の1に少量化して可燃処理する技術を導入するなど、先駆的な事業を展開しているまちネット寄居会員がいます。その取り組みを、4月から5月の間に希望者を募り見学のツアーを計画しています。詳細が決まり次第お知らせする予定です。

会員のつばやき



春はあけぼの…

30年前に寄居町へ転入して以来、用土の外れで生活しています。

一時期生活クラブにお世話になり、「まちネットワークよりい」に出会いました。

今は生活クラブから離れておりますが、「まちネットワークよりい」の設立趣意に心惹かれ、その後も籍を置かせて頂いております。

「1人ではどうすることも出来ない。」「点より線、線よりネット」ネットの力に願いをかけていますが、総会に出席しても出席者は一桁、残念です。

一桁の人でも、地道に活動しておられる方々には頭が下がります。

私自身は、何とかネットを広げるだけでも、と思うのですが街の片隅の移住民で何の力もありません。娘の知人に声をかけてもらいましたが、皆それぞれの生活に忙しく、中々思うように行きません。

「忙しい」とは心を亡くすこと。現代社会の寂しさを感じます。

ネット拡大・強化の為に、何か出来ることはないか…模索しています。

(A.S)



3月は春の訪れを感じて心浮き立つ気分かと思いきや、それは違った。

報道されるのは年を経ても消えることのない災害の爪痕、事件の癒えぬ傷。

3月に起こった出来事だった。今年に限っても災害級の大雪、山林火災と重い記事ばかり。

海外も然り、新聞を前に日々鬱々としても良くない。

さて、どうしようと腰を上げ外に出る。まだ寒いこの時期は諸々の手入りに丁度好い。

昨年放置していた樹は枝を伸ばし、足元にはたくさんの芽吹きがみられる。

自分と相談しながら樹や枝の様子を見ながら伐採、この作業は悪くない。

小さなお皿状の鳥の巣を2個発見、カマキリの卵もあちらこちらに。

盆栽に仕立てられそうな苗木前の棕櫚、白樫、柘植その他、今のうちに抜いておく。

物言わぬ草木は面白い。気に入った所ではすくすく育つが、厭だと思えば出て来ない。

遅いけれど、だが人の手が無いと收拾がつかないし荒れる。環境って大事。

植木鉢の植物では土に栄養を与え水は切らさずに、これも環境整備。



最新の世界幸福度ランキングで日本は55位、G7先進国では最下位だという。

これは各国の人々に自分の生活を10段階評価してもらい、その平均から順位をつけたもの。

日本人の幸福度が少ない原因は何だろう？生活空間が狭い？生活を楽しむ心のゆとりが無い？

それとも何かにつけて自己責任と諦める寂しい心が多いせいだろうか。

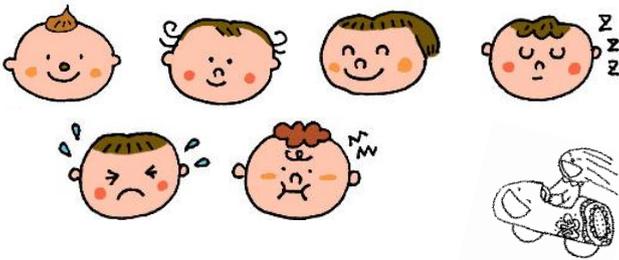
元気のない植物のようだと思う。大切にされていないと分かる。

即戦力を求める企業が増えているというけど、では人は何処で育てば良いのだろうか？

議会の場で睨み合いを続ける政治家さん達はいつになったら国民の幸福を考えてくれるのだろう。

新たな進路に進む若人たちが希望を持てる社会であってほしいと願う。

(Y. M.)



昭和100年の節目に思う

今年、昭和100年、戦後80年の節目であり、国際協同組合年、国際婦人年でもあります。

2023年11月3日、国連総会は、2025年を、2012年に続き2回目の「国際協同組合年」とすることを宣言しました。持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年(International Year of Cooperatives:IYC)に決めました。

(プレスリリースより)

社会的連帯経済に向けて

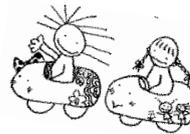
意外に知られていない協同組合の理念ですが、利潤最優先の企業に対して持続可能な社会を掲げる協同組合は、「労働者協同組合法」の法整備がなされ日本でも少しずつ前進しています。現在ヨーロッパを中心に「社会的連帯経済」(*参照)を目指して様々な人たちが立ち上がっています。過度な競争による人間性の喪失、環境破壊など資本主義経済が行き詰まっている中、様々な人が協同し、だれもが自分らしい働き方、

生き方ができる民主的で持続可能な「社会的連帯経済」が広がることで、より豊かで安心な社会を目指しています。

働くことの喜び、生きがいを感じられる心豊かな仕事に、それなりの対価が保証される社会の創出は、決して夢ではないと思います。地域福祉を推進する機動力となる働き方です。

*「社会連帯経済憲章」

1. 平等で公平な参加、仕事の分配などを保障すること
2. 金銭面を含め、すべての面において、誰もが尊厳ある労働ができるようにすること
3. あらゆる面で環境を守り、持続可能性を大切に活動すること
4. 互いに協力して、民主的な運営を行うこと
5. 非営利組織として、利益は労働者、事業、地域、社会の豊かさのために生かすこと
6. 地域コミュニティが豊かで持続可能な世界の一員となるために、貢献すること



国際婦人年

また、今年、国際婦人年でもあります。3月8日は、国際女性デーでした。新聞、TV 報道でも様々な視点から検証され、取り上げられています。

都道府県分野別のジェンダーギャップ指数も掲載されていました。埼玉県のジェンダーギャップ指数は政治部門では7位。行政部門8位。教育部門42位。経済部門40位。特にフルタイムの仕事に従事する割合の男女比は最下位の47位(東京新聞より)と大きな偏りがあります。全国議員、役員、教育、給料などまだまだ男性との差は大きい現状です。また、都市部と地方の差が大きく、地方では固定化されているという報道がありました。それは私たちの生活の中でも実感されていることです。政府女性活躍推進を図るPJチーム報告書によると、若い女性の地方から都市部への流出が加速しているといえます。男女間の賃金の格差、正規職員への壁(雇用の不安定さ)に加えて、性別役割分担

の意識などがまだまだ強い地方からの移動が大きくなっています。都市部への一極集中は、地方をさらに衰退させる要因となります。待ったなしの状況下で対策が急がれます。



戦後80年、社会は大きく変貌して来ました。この流れの中で決して忘れてはならないことは、多くの犠牲を出して終戦となり、現在まで戦争のない日本社会となっていますが、同様に、女性が参政権を獲得したのは戦後です。その間には先人たちの血のにじむような戦いがあったのです。この多くの人たちの戦いから勝ち取ってきたことを、忘れてはならないと思います。そして、世界の政治が歪んできている中、平和、人権を第一に市民が主役の政治を押し進めて行きたいと思っています。



つながろう 地域ネットと県ネット



埼玉県内には私たち「まちネットワークよりい」を含め「越谷市民ネットワーク」「生き生きネットワーク鴻巣」「よしかわ市民ネットワーク」「はにゅう市民ネットワーク」「ひだか市民ネットワーク」「熊谷市民ネットワーク準備会」の7つの地域ネットワークがあり、「埼玉県市民ネットワーク」という組織を作っています。

現在この「埼玉県市民ネットワーク」には4つの地域から6人の代理人がおり、各市議会や地域で活躍しています。どなたも市民の視点から住み良い地域、一人ひとりが尊重され、安心して暮らせる町作りを目指し、たいへん熱心に勉強され精力的に活動しています。

(ちなみに県ネットの横の繋がりとして、北海道(代理

人4人) 千葉(5人)茨城(6人)東京(40人)神奈川(7人)長野(1人)福岡(5人)そして埼玉(6人)の計74人の代理人を有する「全国市民政治ネットワーク」があります。)

今回は県ネットの位置づけについてでした。次回から「埼玉県市民ネットワーク」の地域ネットと6人の代理人を紹介していきたいと思います。 K.Y



information

ネット会員募集 お知らせ

毎日の暮らしの中で、感じていること、困っていることなど皆で話すことからスタートです。私発が原点です。安心して暮らせる地域を私たちの手で。ぜひ、お仲間になってください。

問合せ：大北(080-5933-7154)

※ショートメールでもOKです。



編集後記

「考える力」最近よく聞く言葉だ。
凄まじいスピードで情報が拡散されるネット社会。簡単に検索出来て、すぐさま結果が出る。なんとなくちんぷな事か。だが、すべてを鵜呑みにはできない。情報の真偽を一度は疑ってみることが必要。一つの事件の評価が、これほど真二つに分かれることへの不信。何を信じればよいの？
人間は、楽な道を選択してしまう。世界中で今までの常識が通用しない流れになってきた。力と、お金で現状変更がたやすくなされている。やはり考え、疑う力を失ってはいけないとしみじみ感じる。 H.O